





### 多くの消費者が

### 関心を寄せている

### 「放射性物質検査」

### 「さまざまな風評」について

### 「その2」

Q8. 乳業メーカーは独自に放射性物質を検査しないのですか？

A8. 原乳段階でモニタリング検査を実施することにより、牛乳・乳製品の安全性を確保しています。

なお、都道府県などの地方行政機関では、消費者の方々の不安を解消するため、放射性物質検査を実施している場合もあります。その検査結果は、農水省のホームページ「厚生労働省(食品中の放射性物質の検査結果)」(Q3参照)をご覧ください。

Q9. 牛が食べる牧草や水、呼吸する空気について放射性物質検査はしているのですか？

A9. 大気中及び水道水中の放射線量は各地方自治体などによる調査が実施され、それぞれホームページで計測値が詳細に公表されています。

牧草については「大気中の放射線量が通常より高いレベルで検出された地域」において「今後(原発事故後に)生産される粗飼料について暫定許容量以内のものを使用するとともに、その検査を行うこと」とされました。その結果、6月21日現在で、岩手県、宮城県、福島県、栃木県のそれぞれ一部地域において、粗飼料の利用及び放牧の自粛がおこなわれています。

自粛の解除は、原則として3回連続で暫定許容量を下回ることが条件となっています。

Q10. 学校給食の牛乳はどこから、どうやって調達されているのか教えてください。

A10. 学校給食用の牛乳は、原則として、その牛乳を製造する乳業工場が所在する各都道府県産の原乳が使用されています。ただし、児童生徒

人口が多く、酪農家戸数の少ない地域(例えば東京都)では、工場の近隣の他県産の原乳も使用する場合があります。状況はさまざまです。

なお、それらの原乳についても、暫定規制値を超過した原乳は出荷できないため、安全性は確保されています。(Q1参照)

学校給食に供されている牛乳の原産地をお知りになりたい場合は、ご面倒でも、製造者(乳業メーカー)のお客様相談室などにお問い合わせください。

Q11. チェルノブイリ原発事故の時、牛乳の摂取によりガンが多発したという話がありますが本当ですか？福島原発事故でも同じことが起きるのではありませんか？

A11. 1986年チェルノブイリ原発事故による小児の甲状腺ガンと牛乳との関係について、原子放射線の影響に関する国連科学委員会(UNSCEAR)が報告書を公開しましたが、ヨウ素131による内部被曝で甲状腺ガンになったと見られる患者数は6千人以上そのうち2005年までに亡くなったのは15人としています。

WHOは「チェルノブイリ事故による健康影響の概要」においてこの甲状腺ガンについて次のように評価しています。「高汚染地域の居住者のうち事故時に小児期や青年期であった人では、甲状腺ガンの発症率が大きく増加した。これは事故直後の初期に放出された高レベルの放射性ヨウ素のためで、放射性ヨウ素は牧草に蓄積しそれを牛が食べることで牛乳中に濃縮され、それを子供が飲んだことによる。この地域では通常の食生活でヨウ素欠乏となるため、放射性ヨウ素の甲状腺への蓄積が促進された。放射性ヨウ素の半減期は短いので、事故後の数カ月間、汚染した牛乳を子供に与えるのを止めていたら、放射線誘発甲状腺ガンの過剰増加の大部分は生じなかったであろう。」

中川恵二准教授(東京大学医学部付属病院放射線科)は、「ヨウ素は甲状腺ホルモンの合成に不可欠で、その摂取のほとんどは海草からとなっている。日本人は普段から海藻や海産物の摂取が比較的多いためヨウ素の充足度は一般的に高く、チェルノブイリほどの影響はないと考える。」と述べています。「(出版・参照)放射線の秘密」中川恵二著、朝日出版社。なお今回の福島原発事故においては、放射性物質汚染された原乳に対して出荷制限措置が速やかに実施され、現在も自治体の

検査が実施されています。

また、放射性ヨウ素の暫定規制値が「100 Bq/kgを超えるものは、乳幼児用調整粉乳及び直接飲用に供する乳に使用しないよう指導する」とされていますが、これは放射性ヨウ素が乳幼児の甲状腺に対する影響が大きいことを考慮して、より安全に配慮した指導を行うためです。

Q12. 肉用牛への稲わら給与が牛肉の放射性物質汚染の原因と報道されていますが、乳牛へは稲わらを給与しないのですか？

A12. 乳牛、特に搾乳牛には、一般的に稲わらは給与されていません。何故なら、稲わらは栄養価が低く、乳牛の健康維持や産乳量に見合った栄養充足の必要性から、稲わらではなく、栄養濃度の高い良質牧草の給与が不可欠だからです。

なお、稲作を兼業とする酪農家、近隣が稲作

地帯の酪農家の中に、稲わらを補足的に利用していることもあり、牛床の敷料(敷きわら)として活用されるのが一般的です。

もちろん、稲わらを飼料や敷料としている酪農家が出荷した原乳も含め、定期的な検査において放射性物質の規制値を超過していない原乳が流通しています。

なお、肉用牛飼養に不適切な稲わら給与があった事例を受け、国や各自治体は、酪農家の乳牛の飼養実態(どのような餌を食べさせているのかなど)を調査し、問題がある酪農家にはその改善を指導するような取り組みを行っています。

また、生産者団体においても、酪農家に対し、原発事故後に収穫した稲わらなどの利用を中止するよう指導しています。

(終わり)



### 東京都牛乳流通改善協会

### 関東甲信越ブロック会議計画

全国牛乳流通改善協会の平成23年度全改協組織強化促進事業関東甲信越ブロック会議が計画設定された。実施予定については来る平成24年3月3日(土)となった。これについて、去る10月29日(土)に全国流通改協会議が東京でおこなわれたが、その際打ち合わせが行われて決定したものである。この事業の内容は次の通りである。

### 1 事業の目的

全改協の各ブロック内における牛乳流通事情等について、流改協が相互に意見、情報の交換並びに牛乳販売店の活性化と経営の安定化を促進させる為の対応策の検討を行うと共に、当該ブロック内の流改協組織の強化と牛乳販売店に対する指導体制の確立等を協議する事により、牛乳販売業界の安定的発展並びに牛乳の流通改善及び消費拡大を図るものである。

### 2 事業の内容

(1) 事業関係

茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	山梨県	長野県	新潟県
村田武司	箕輪好洋	天谷正巳	深沢宣恵	小泉広次	高橋東	依田末男	長谷川正	萱沼陽一	林昭
マーク名	森	雪	雪	雪	雪	雪	雪	雪	雪

### 3 参加対象者

ブロック長及びブロック内流改協会長等(なおこの会議の事務局は都改協事務局が担当する)

今年度の関東甲信越の流改協会長は次のとおりである。

### 新規協賛会員紹介

三井住友カード(株)

事業内容・クレジットカード業務全般

東乳商担当者・加盟店事業部MMC班

藤田博久(ふじたひろひさ)さん

03-5470-7246

※詳細は左記掲載の広告をご覧ください。

### 組合員アンケート締め切り迫る!

先月号に織り込んだ「東乳商組合員アンケート」の締め切りは11月末日です。

まだ送信されていない方は大至急ご記入のうえ、東乳商宛にFAXをお願いします。

東乳商事務所 FAX番号

03-5295-3724

### ビジネスカードを利用して、煩雑な経理事務を合理化!

三井住友VISAカードの「マーチャントメンバーズクラブ(MMC)」は、事業主さま専用のビジネスカードです。既にお持ちの個人カードとビジネスカードを使い分けることで、公私を明確にすることができ、経理処理が簡単になります。

- ・経費精算をビジネスカードで(電気料金・ガス料金・ガソリン代)
- ・いざという時の短期資金調達にキャッシング機能付き

経費支払口座の一本化 毎月1回の口座引落し



※ご入会に際しては弊社による入会審査があり、審査の結果ご入会いただけない場合がございます。

■お問合せ・資料請求先 三井住友カード(株) 加盟店事業部 MMC班 電話:03-5470-7246 受付時間:9時~17時(土日祝休)

**たのもう君II** 機能UP!! 顧客フォローから営業支援まで

宅配管理システム **たのもう君** 顧客管理システム **Apoむすめ** CTIシステム 地図システム

地図システム **たのもう君** 卸・財務管理システム **ハンド君** 自販機管理システム **ベンダーマン**

システムの負担軽減→月16,800円より(5年リース)

東乳商協賛会員 お問い合わせは **0800-111-8000**迄

(株)システム青葉 〒286-0029 成田市ウイング土屋116 TEL 0476-20-1332